



かわさき
学校だより
ホームページ
http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kawasaki/

コミュニティ・スクール基本理念 一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成一

川崎小学校 めざす学校像 ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.25 令和8年1月20日 文責 校長

学校評価アンケートの集約結果をご報告します

昨年12月に、児童、保護者の方、地域の方、教職員を対象に今年度の川崎小学校の教育活動に関するアンケートを実施しました。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集約結果と分析についてご報告します。



児童アンケート

【表の見方について】

- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
- 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。

【児童アンケートより】

全27項目のうち、肯定的回答(A評価かB評価を選択した回答)が90%以上となったのは9項目でした。

昨年度より大きく下降した項目は項目16の「地域の行事への参加について」昨年度比-5.8%でした。学校教育活動を地域の皆様のご協力のもと行っていることを踏まえ、引き続き地域行事への関心が高まるように働きかけを行ってまいります。

項目21の「分からないときに分からないといえるかどうか」については、-5.6%でした。項目12「自分によいところがある」肯定的評価は、7割台後半で昨年度より微減。一方A評価は3割台です。

学習面では、項目19「学校の授業がよくわかる」の肯定的回答は89.8%で微減、1割弱が否定的回答となっています。

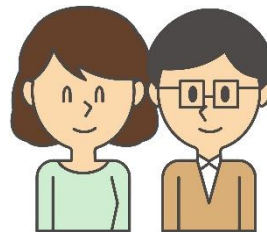
生活面では、項目15「いじめはいけない」の設問に対しては、肯定的回答の中でも高い

2025年度 児童		割合						前年度との比較	
番号	設問	A	B	C	D	肯定的 (A+B)	否定的 (C+D)		
1	毎日おなじくらの時刻に	32.9%	51.9%	11.6%	3.6%	84.8%	15.2%	↑	+1.6%
2	平日、家での勉強は	30.3%	37.0%	19.0%	13.7%	67.3%	32.7%	↓	-1.9%
3	平日テレビを見たりゲームをしたりする時間は	30.1%	23.9%	19.0%	27.0%	54.0%	46.0%	↑	+2.3%
4	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と	55.9%		44.1%		55.9%	44.1%	↓	-4.5%
5	朝ごはんは毎日	74.6%	17.3%	5.9%	2.1%	91.9%	8.1%	↓	-2.0%
6	学校に行くのは	48.6%	39.6%	7.6%	4.3%	88.2%	11.8%	↓	-3.5%
7	学校の行事は	68.7%	27.4%	3.1%	0.7%	96.2%	3.8%	↑	+1.1%
8	フレンドリークラブは(4年生以上が答える)	71.6%	23.6%	3.4%	1.4%	95.2%	4.8%	↓	-0.2%
9	登下校や学校の中であいさつが	48.6%	40.0%	9.7%	1.7%	88.6%	11.4%	↑	+0.5%
10	正しい言葉づかいが	39.8%	45.3%	12.6%	2.4%	85.1%	14.9%	↓	-0.2%
11	掃除や当番や係の仕事がきちんと	60.4%	34.6%	4.5%	0.5%	95.0%	5.0%	↓	-0.8%
12	自分にはよいところがあると	36.7%	40.8%	14.0%	8.5%	77.5%	22.5%	↓	-0.6%
13	お家の人や先生、友達はあるのよいところを認めてくれていると	47.9%	37.7%	10.4%	4.0%	85.5%	14.5%	↓	-1.4%
14	人が困っているときは、進んで助けられることが	39.6%	47.9%	10.7%	1.9%	87.4%	12.6%	↑	+0.3%
15	いじめは、どんな理由があってもいけないと	86.0%	10.2%	1.9%	1.9%	96.2%	3.8%	↓	-1.0%
16	地域の行事に	26.5%	29.4%	23.2%	20.9%	55.9%	44.1%	↓	-5.8%
17	地域のボランティア活動として、清掃奉仕やまつりや集いは参加を	26.1%	28.7%	22.0%	23.2%	54.7%	45.3%	↓	-4.2%
18	将来地域のために役立つ人になりたいと(3年生以上が答える)	37.9%	42.9%	15.7%	3.4%	80.8%	19.2%	↑	+1.3%
19	学校の授業は	43.4%	46.4%	7.3%	2.8%	89.8%	10.2%	↓	-1.6%
20	校外の人やモノに出会う勉強は	65.6%	30.1%	2.8%	1.4%	95.7%	4.3%	↑	+1.3%
21	分からないときに「分からない」と	37.2%	34.8%	20.6%	7.3%	72.0%	28.0%	↓	-5.6%
22	自分の考えをしっかりと伝えることが	36.3%	45.5%	14.7%	3.6%	81.8%	18.2%	↑	+1.1%
23	先生や友だちの話をしっかりと聞くことが	52.4%	42.2%	4.5%	0.9%	94.5%	5.5%	↑	+0.8%
24	自分の意見や考えをしっかりと書くことが	50.0%	40.0%	9.0%	0.9%	90.0%	10.0%	↓	-1.6%
25	川崎小学校十か条を守って生活することが	43.4%	44.1%	10.2%	2.4%	87.4%	12.6%	↓	-1.8%
26	体育や学校行事で体をしっかりと動かすことが	64.9%	24.9%	8.0%	2.1%	89.9%	10.1%	↓	-2.2%
27	勉強のときに、タブレットをうまく使うことが	69.7%	25.4%	4.0%	0.9%	95.0%	5.0%	↑	+0.9%

数値を示しました。「学校へ行くのが楽しい」が8割強で微減でした。自己肯定感は様々な場面で、高められると考えます。子どもたちが学ぶ楽しさ・わかる喜びを得られる授業改善や、「自分も一人の人間として大切にされている」という実感等が得られる学校づくりに向けた研修等を行い、子どもたち一人ひとりの自己肯定感の涵養をめざします。

保護者アンケート

ご多用の中、ご回答いただきありがとうございます。保護者数348に対し、対象回答数は100(28.7%)でした。QRコード、情報端末による回答または紙による回答をお願いしました。おかげさまで集計作業の軽減を図ることができました。



【表の見方について】

- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
- 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。

【保護者アンケートから】

15項目中10項目において、肯定的回答が90%以上でした。また、12項目で昨年度よりも肯定的評価が上がっています。特に、項目1、項目2、項目4において、肯定的評価100%をいただきました。ある一定学校教育活動への評価をいただいたと考えております。

一方で、授業・学力については、大きく肯定的表が下がっています。

項目11学校は、「めあて」と「ふり返し」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことができる授業や、友達の話を聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている」の肯定的評価-7.8%。項目12「学校は、「書く力」・「読む力」「読み取る力」の定着を目指した学習活動の充実に努めている。」の肯定的評価-6.5%。でした。

6年生の全国学力学習調査では前年度に比べ改善傾向がみられましたが、5年生のみエスタでは引き続き取り組みが必要であることも明白になりました。今年度は三重大と協働したひらがなプロジェクト

【対象：1年生】、Qubena(キュービナ)学習eポータル+AI型教材【対象：3~6年生】、若手教員等の育成を核とした授業力向上の取組推進事業【対象：全学年】を行ってまいりましたが、保護者の方にご自分のお子様の成長が確かに感じられるものになっていないと捉え、引き続き、今まで行

番号	設問	割合				肯定的 (A+B)	否定的 (C+D)	前年度との比較	
		A	B	C	D			矢印	数値
1	学校は、各学年における地域学習や体験活動、フレンドリークラブ、フレンドリー懇談での作物づくりや地域行事への参加、川崎ふれあいフェスタ等を通して地域とともにある学校づくりに努めている。	73.0%	27.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+3.0%
2	学校は、地域との協働で、地域の歴史・文化・人材を活用した学習を行い、子どもたちの地域参画や地域への関心を高めることに努めている。	59.0%	41.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+2.5%
3	学校は、地域・保護者と連携した交通安全指導や交通安全教室等の開催、避難訓練や防犯訓練等の実施により危機管理の向上に努めている。	59.0%	39.0%	2.0%	0.0%	98.0%	2.0%	↑	+1.5%
4	学校は、学校行事(運動会、竹馬チャレンジ、川崎ふれあいフェスタ等)や授業を公開する機会を設けたり、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ更新やメール配信等により、学校の情報を積極的に発信するように努めている。	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+3.0%
5	学校は、地域・保護者の協力を得ながら、学校環境の整備に努めている。	59.0%	39.0%	2.0%	0.0%	98.0%	2.0%	↑	+1.5%
6	学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校(学級)づくりに努めている。	25.0%	57.0%	14.0%	4.0%	82.0%	18.0%	↑	+2.6%
7	学校は、川崎小学校十か条(あいさつ、時間を守る、学校をきれいにするなど)に基づいて生徒指導を行い、より良い生活態度の育成や仲間づくりに努めている。	32.0%	58.0%	8.0%	2.0%	90.0%	10.0%	↑	+2.1%
8	学校は、学級・学年の自治的な活動や道徳・人権教育、福祉体験活動、花壇づくりや合唱等を通して、子どもたちに、確かな人権感覚と豊かな情操を育むとともに、児童の自己肯定感の向上に努めている。	39.0%	56.0%	5.0%	0.0%	95.0%	5.0%	↑	+3.0%
9	学校は、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染の予防、感染防止をはじめ、健康・食育・睡眠に関する指導や、ホームページ・たより等による保護者啓発を通して、健康教育、食育等の充実と生活習慣の向上に努めている。	39.0%	50.0%	9.0%	2.0%	89.0%	11.0%	↓	-3.0%
10	学校は、運動会、竹馬チャレンジ、なわとび週間や外部講師による指導を通して、体力の向上に努めている。	53.0%	43.0%	4.0%	0.0%	96.0%	4.0%	↑	+2.0%
11	学校は、「めあて」と「ふり返し」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことができる授業や、友達の話を聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	34.3%	50.9%	7.4%	7.4%	85.2%	14.8%	↓	-7.8%
12	学校は、「書く力」・「読む力」「読み取る力」の定着を目指した学習活動の充実に努めている。	22.8%	52.6%	12.3%	12.3%	75.4%	24.6%	↓	-6.5%
13	学校は、家庭学習の手引き・自主学習の手引きの発行や学力調査の結果を公表するなどして、望ましい学習習慣(家庭学習、読書等)の定着に努めている。	25.7%	62.9%	5.7%	5.7%	88.6%	11.4%	↑	+1.1%
14	学校は、補充学習(くぐぐんタイム・サマースクール・学期ごとの補充学習)や、読書活動等を行い、基礎学力の定着に努めている。	36.2%	54.3%	4.8%	4.8%	90.5%	9.5%	↑	+2.5%
15	学校は、1人1台端末を日常的に効果的に活用した授業づくりや、児童のICT活用能力の育成に努めている。	37.4%	53.3%	4.7%	4.7%	90.7%	9.3%	↑	+0.2%

ってきた学習活動をさらに強化し、教える側である我々教職員も研修にも力を入れてまいります。

地域アンケート

ご多用の中、ご回答いただきありがとうございます。対象回答数は22でした。今年度も、QRコードの書かれた紙を配布し、情報端末による回答または紙による回答をお願いしました。

【表の見方について】

- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
- 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。

【地域アンケートから】

15項目のうち肯定的回答90%以上は13項目(昨年度は7項目)でした。

その中でも特に、項目1「地域とともにある学校づくり」、項目3「交通安全教室など危機管理の向上」、項目4「学校情報の発信」、項目8「児童の自己肯定感の向上」、項目11「授業のめあてと振り返り」、項目15「1人1台端末を活用した授業づくり、ICT活用能力の育成」に関しては、肯定的評価100%の評価をいただきました。

創立150周年をキーワードに地域と保護者と学校が一体となって複数年をかけて取り組んできたことや、地域の皆様方のご指導の下進めてきた地域学習等が評価されたと分析しております。

一方で、項目5「学校の環境整備」については前年度比-1.1%、項目9「健康教育、食育と生活習慣の向上」については前年度比-2.5%でした。

今後も、学校の中だけでなく地域社会と情報を共有し、連携しながら教育活動を行う開かれた学校づくりを意識してまいります。



2025年度 地域		割合						前年度との比較	
番号	設問	A	B	C	D	肯定的 (A+B)	否定的 (C+D)		
1	学校は、各学年における地域学習や体験活動、フレンドリークラブ、フレンドリー農園での作物づくりや地域行事への参加、川崎ふれあいフェスタ等を通して地域とともにある学校づくりに努めている。	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+4.0%
2	学校は、地域との協働で、地域の歴史・文化・人材を活用した学習を行い、子どもたちの地域参画や地域への関心を高めることに努めている。	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↑	+7.5%
3	学校は、地域・保護者と連携した交通安全指導や交通安全教室等の開催、避難訓練や防犯訓練等の実施により危機管理の向上に努めている。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+8.0%
4	学校は、学校行事(運動会、竹馬チャレンジ、川崎ふれあいフェスタ等)や授業を公開する機会を設けたり、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ更新やメール配信等により、学校の情報を積極的に発信するよう努めている。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+6.0%
5	学校は、地域・保護者の協力を得ながら、学校環境の整備に努めている。	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	90.9%	9.1%	↓	-1.1%
6	学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校(学級)づくりに努めている。	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	90.9%	9.1%	↑	+8.9%
7	学校は、川崎小学校十か条(あいさつ、時間を守る、学校をきれいにする等)に基づいて生徒指導を行い、より良い生活態度の育成や仲間づくりに努めている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↑	+9.5%
8	学校は、学級・学年の自治的な活動や道徳・人権教育、福祉体験活動、花壇づくりや合唱等を通して、子どもたちに、確かな人権感覚と豊かな情操を育むとともに、児童の自己肯定感の向上に努めている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+14.0%
9	学校は、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染の予防、感染防止をはじめ、健康・食育・睡眠に関する指導や、ホームページ・たより等による保護者啓発を通して、健康教育、食育等の充実と生活習慣の向上に努めている。	16.7%	70.8%	12.5%	0.0%	87.5%	12.5%	↓	-2.5%
10	学校は、運動会、竹馬チャレンジ、なわとび週間や外部講師による指導を通して、体力の向上に努めている。	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↑	+1.5%
11	学校は、「めあて」と「振り返り」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことができる授業や、友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	22.7%	77.3%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+24.0%
12	学校は、「書く力」・「読む力」・「読み取る力」の定着を目指した学習活動の充実を努めている。	22.7%	72.7%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↑	+17.5%
13	学校は、家庭学習の手引き・自主学習の手引きの発行や学力調査の結果を公表するなどして、望ましい学習習慣(家庭学習、読書等)の定着に努めている。	13.6%	68.2%	18.2%	0.0%	81.8%	18.2%	↓	-0.2%
14	学校は、補充学習(くんぐんタイム・サマースクール・学期ごとの補充学習)や、読書活動等を行い、基礎学力の定着に努めている。	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↑	+11.5%
15	学校は、1人1台端末を日常的で効果的に活用した授業づくりや、児童のICT活用能力の育成に努めている。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑	+10.0%

教職員アンケート

【表の見方について】

- それぞれの項目で、「A そう思う」「B おおむねそう思う」「C あまりそう思わない」「D 思わない」の4つから選択するアンケートでした。
- 昨年度と比較して、肯定的評価の前年度との比較を矢印であらわしました。

【教職員アンケートから】

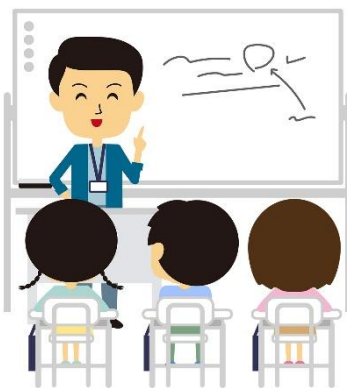
20項目のうち20項目で肯定的回答が90%以上でした。教育実践を行う教員の肯定的な評価が高いということは、自信をもって教育活動を行っていることの現れであると分析しております。

特に項目17「総務務時間の縮減、教職員の働き方」においては前年度比21.3%上昇しました。今年度肯定的評価は90.9%、昨年度の肯定的評価は69.6%でした。これは働き方改革に取り組みつつも、安易な前年度踏襲をせず、児童・保護者・地域の視点に立ち、ていねいに実施計画、年間指導計画の見直しに取り組んできた意識が数値に表れてきたと考えております。

また、項目11「めあてとふり返りを大切にされた対話的な授業づくりについては」全年度比肯定的評価4.5%上昇しました。これは、児童自らが学びを言語化することで学びを確かなものにするために、今年度特にめあてとふり返りには力を入れて取り組んできたことの成果と考えます。

一方で、項目5「地域・保護者の協力を得ながら学校の環境整備」についての肯定的評価は-4.5%、項目9「健康教育、食育等の充実と生活習慣の向上」についての肯定的評価は-4.5%、項目10「体力の向上」についての肯定的評価は-4.7%、項目9「読書活動の充実と読書習慣の定着」についての肯定的評価は-4.7%でした。

引き続き、目の前の子どもたち一人ひとりが自他のかけがえのない価値を認識しながら、可能性を伸ばし、自分らしく生きることができるよう、地道な教育活動を行ってまいります。



2025年度教職員		割合				割合		前年度との比較
番号	設問	A	B	C	D	肯定的(A+B)	否定的(C+D)	
1	学校は、各学年における地域学習や体験活動、フレンドリー農園での作物づくりや収穫祭への参加、川崎ふれあいフェスタ等を通して地域とともにある学校づくりに努めている。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→ 0
2	学校は、地域との協働で、地域の歴史・文化・人材を活用した学習を行い、子どもたちの地域参画や地域への関心を高めることに努めている。	77.3%	18.2%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
3	学校は、地域・保護者と連携した交通安全指導や交通安全教室等の開催、防災訓練や避難訓練等の実施により危機管理の向上に努めている。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→ 0
4	学校は、学校行事(運動会、竹馬チャレンジ、川崎ふれあいフェスタ等)を公開する機会を設けたり、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ更新やメール配信等により、学校の情報を積極的に発信するように努めている。	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→ 0
5	学校は、地域・保護者の協力を得ながら、学校環境の整備に努めている。	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -4.5%
6	学校は、一人ひとりにあったきめ細かい支援や、いじめを見逃さない居心地のよい学校(学級)づくりに努めている。	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
7	学校は、川崎小学校十か条(あいさつ、時間を守る、学校をきれいにする等)に基づいて生徒指導を行い、より良い生活態度の育成や、仲間づくりに努めている。	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
8	学校は、学級・学年の自治的な活動や道徳・人権教育、福祉体験活動、花壇づくりや合唱等を通して、子どもたちの確かな人権感覚と豊かな情操を育むとともに、児童の自己肯定感の向上に努めている。	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
9	学校は、新型コロナウイルス感染症防止をはじめ、健康・食育・睡眠に関する指導や、ホームページ・たより等による保護者啓発を通して、健康教育、食育等の充実と生活習慣の向上に努めている。	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -4.5%
10	学校は、運動会、竹馬チャレンジ、なわとび集会や外部講師による指導を通して、体力の向上に努めている。	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	90.9%	9.1%	↓ -4.7%
11	学校は、「めあて」と「ふり返し」を大切にしながら、児童が主体的に取り組むことができる授業や、友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑ +4.3%
12	学校は、「書く力」「読む・読み取る力」の育成を目指して、亀山市国語検定テストの活用等、学習活動の充実と読書習慣の定着に努めている。	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
13	学校は、家庭学習の手引き・自主学習の手引きの発行や学力調査の結果を公表するなどして、望ましい家庭学習の習慣化に努めている。	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
14	学校は、補充学習(ぐんぐんタイム・サマースクール・学期ごとの補充学習)を行い、基礎学力の定着に努めている。	72.7%	22.7%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
15	学校は、読書活動の充実と読書習慣の定着に努めている。	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	90.9%	9.1%	↓ -4.7%
16	学校は、1人1台端末を日常的で効果的に活用した授業づくりや、児童のICT活用能力の育成に努めている。	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	→ 0
17	総務務時間の縮減、教職員の過重労働による健康障害防止に努めている。(安全衛生委員会・定時退校・年休取得・学校ボランティア募集等)	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%	90.9%	9.1%	↑ +21.3%
18	「明るく、仲良く、元気よく」校務に取り組む職場風土をつくらせている。(校務の分担・仕事内容の分かち合い・職場内厚生事業など)	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
19	教職員が互いに学び合える研修を推進している。(日常業務におけるOJT・自主研修進捗の推進など)	54.5%	40.9%	4.5%	0.0%	95.5%	4.5%	↓ -0.2%
20	法令順守の意識の向上、ハラスメントの防止に努めている。(声かけによる未然防止・危機管理マニュアル学習会・相談窓口設置など)	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	↑ +4.3%